

2. 価格以外の評価点の算出方法（200点）

| 評価分類 | 評価項目 | 評価基準 | 配点 | 備考 | 定量・定性区分 | 様式 | |
|---|--------------------------|-----------------------------------|--|---|----------------------------------|------|-----|
| 財務体質等 | 自己資本比率の状況 | 経営の安定度を評価 | | | ※計算に使用した証拠書類を提出 ※自己資本÷総資本×100 | 定量評価 | 様式4 |
| | | ○20%以上 | 10点 | | | | |
| | | ○10%以上20%未満 | 8点 | | | | |
| | | ○0%超10%未満 | 4点 | | | | |
| | ○0% | 0点 | | | | | |
| 流動比率の状況 | 短期的な支払能力を評価 | | | ※計算に使用した証拠書類を提出 ※流動資産÷流動負債×100 | 定量評価 | 様式5 | |
| | ○150%以上 | 8点 | | | | | |
| | ○100%以上150%未満 | 4点 | | | | | |
| ○100%未満 | 0点 | | | | | | |
| 経常利益の状況 | 総合的な成長を評価 | | | ※当期経常利益と前期経常利益を比較し、経常利益が増加しているかで判断 ※3ヶ年の状況で評価 ※当期経常利益が赤字の場合は、向上としない。 ※経常利益の証拠書類を提出 | 定量評価 | 様式6 | |
| | ○3ヶ年とも前期より向上 | 8点 | | | | | |
| | ○3ヶ年のうち2ヶ年が前期より向上 | 6点 | | | | | |
| | ○3ヶ年のうち1ヶ年が前期より向上 | 4点 | | | | | |
| ○3ヶ年とも前期より向上せず | 0点 | | | | | | |
| 過去3ヶ年の決算状況 (赤字の有無) | 収益力を評価 | | | ※計算に使用した証拠書類を提出 ※過去3ヶ年の損益計算書の経常利益で評価 | 定量評価 | 様式7 | |
| | ○赤字なし | 10点 | | | | | |
| | ○3ヶ年のうち1ヶ年が赤字 | 8点 | | | | | |
| | ○3ヶ年のうち2ヶ年が赤字 | 4点 | | | | | |
| ○3ヶ年のうち3ヶ年が赤字 | 0点 | | | | | | |
| キャッシュフローの状況 | 営業キャッシュフローで評価 | | | ※計算に使用した証拠書類を提出 ※キャッシュフロー計算書が未作成の場合は、財務諸表（貸借対照表、損益計算書）に基づく算出による評価を可とする。 | 定量評価 | 様式8 | |
| | ○営業キャッシュフローが0円超 | 6点 | | | | | |
| ○営業キャッシュフローが0円以下、または、上場企業でキャッシュフロー計算書を未作成 | 0点 | | | | | | |
| 地域精通度 | 事業者の所在地 | 本店、支店、営業所等の所在地を評価 | | ※市内又は府内の本店、支店、営業所等の有無を評価 | 定量評価 | 様式9 | |
| | | ○市内に本店あり | 4点 | | | | |
| | | ○市内に支店、営業所等あり | 2点 | | | | |
| | | ○府内に本店、支店、営業所等あり | 1点 | | | | |
| ○府内に本店、支店、営業所等なし | 0点 | | | | | | |
| 市への社会貢献度 | 市との災害時応援協定等の締結による地域貢献の実績 | 災害時の応援等に係る市との災害時応援協定の締結の有無を評価 | | ※災害時応援協定等を市と締結している事業者を評価。事業者の所属している団体が、市との協定等を締結しているときも評価の対象とする。 | 定量評価 | 様式10 | |
| | | ○協定締結あり | 4点 | | | | |
| | | ○協定締結なし | 0点 | | | | |
| 事業者の実績・能力 | 事業者の同種・類似業務の実績 | 事業者の同種・類似業務受託実績を評価 | | ※「同種業務」とは、デジタルサイネージの機器設置、システムの開発等の業務とする。（以下の項目において同じ。） ※「類似業務」とは、デジタルサイネージの機器設置、システムの開発等の業務に類似すると判断できる業務とする。（以下の項目において同じ。） ※「同規模業務」とは、デジタルサイネージの機器設置、システムの開発等の業務内容かつ今回発注する業務と同程度の金額とする。 | 定量評価 | 様式11 | |
| | | ○同種かつ同規模以上の業務受託実績あり | 15点 | | | | |
| | | ○同種かつ1/2以上の規模の業務受託実績あり | 10点 | | | | |
| | | ○類似業務の業務受託実績あり | 6点 | | | | |
| ○上記いずれも実績なし | 0点 | | | | | | |
| 配置予定従事者の実績・能力 | 配置予定従事者の保有する資格 | 業務を執行する上で有効な国家資格等の有無を評価 | | ※「有効な国家資格等」とは、情報技術者等の国家資格を指す。 | 定量評価 | 様式12 | |
| | | ○資格あり | 4点 | | | | |
| | ○資格なし | 0点 | | | | | |
| | 配置予定従事者の業務実績 | 同種・類似業務の実績の有無を評価 | | ※「同種業務」とは、デジタルサイネージの機器設置、システムの開発等の業務とする。（以下の項目において同じ。） ※「類似業務」とは、デジタルサイネージの機器設置、システムの開発等の業務に類似すると判断できる業務とする。（以下の項目において同じ。） ※「同規模業務」とは、デジタルサイネージの機器設置、システムの開発等の業務内容かつ今回発注する業務と同程度の金額とする。 | 定量評価 | | |
| | | ○責任者として同種業務に従事した実績あり | 15点 | | | | |
| | | ○同種業務に従事していた実績あり | 10点 | | | | |
| ○類似業務に従事していた実績あり | | 6点 | | | | | |
| ○同種・類似業務に従事した実績なし | 0点 | | | | | | |
| 配置予定従事者の業務内容に関する専門知識等 | 同種・類似業務内容に関する専門知識等の有無を評価 | | ※「専門知識等」とは、プロジェクトマネジメント、情報処理技術、個人情報保護等の専門知識を保有している状況とする。 | 定量評価 | | | |
| | ○専門知識等あり | 10点 | | | | | |
| ○専門知識等なし | 0点 | | | | | | |
| 研修体制 | 研修の実施 | 技術力向上のための研修の実施状況を評価 | 1点 | ※事業者独自の研修、外部での研修を問わないものとする。 ※警備業法に基づく法定研修は評価の対象としない。 ※報告書、受講修了証、レジュメ等で確認する。 | 定性評価 | 様式13 | |
| | 適正な履行確保のための研修計画 | 契約期間中の適正な業務履行確保のための研修計画の有無及び内容を評価 | 1点 | ※研修対象は現場の作業従事者とする。 ※事業者独自の研修、外部での研修を問わないものとする。 | 定性評価 | | |
| 履行体制 | 適正な履行確保のための業務体制 | 仕様書に基づく作業計画書の作成と業務内容を評価 | 8点 | ※作業計画書と仕様書との適合性を評価する。 | 定性評価 | 様式14 | |

| 評価分類 | 評価項目 | 評価基準 | 配点 | 備考 | 定量・定性区分 | 様式 |
|--------------|----------------------------|--|------|--|---------|--------|
| 品質保証への取組 | 品質マネジメントに関する取組状況 | 品質マネジメントに関する取組状況の評価 ○ISO9001の認証取得の有無 | 3点 | ※登録証の写しを提出 ・ISO9001（品質マネジメントシステム） ※ISOについては公益財団法人日本適合性認定協会のHPを参照 ※入札告示日現在の取得状況とする。 | 定量評価 | 様式15 |
| | 苦情処理体制 | 苦情処理体制の整備状況の評価 | 4点 | ※苦情処理要領（マニュアル等）の有無、内容（役割分担、報告・指示及び結果報告系統、伝達方法の明記必須） | 定性評価 | 様式16 |
| 災害時等における業務体制 | 災害時の業務履行体制の整備 | 災害等緊急時において、適正に契約を履行できる社内体制の整備状況の評価 | 2点 | ※マニュアル、提案書を提出 | 定性評価 | 様式17 |
| 情報保護に関する取組 | 個人情報保護に関する取組状況 | 個人情報保護に関する取組状況の評価 | 2点 | ※提案書、個人情報保護方針・マニュアル等、個人情報関連の資格認証の写し・登録証の写し等を提出 | 定性評価 | 様式18 |
| | 情報セキュリティに関する取組状況 | 情報セキュリティ保護に関する取組状況の評価 ○ISO27001の認証取得の有無 | 3点 | ※登録証の写しを提出 ・ISO27001（情報セキュリティマネジメントシステム） ※ISOについては公益財団法人日本適合性認定協会のHPを参照 ※入札告示日現在の取得状況とする。 | 定量評価 | 様式19 |
| 実施方針等 | 実施方針・フロー・工程表 | 業務の実施方法や実施体制、工程表等々を評価 | 7点 | 【評価基準例】 ・事業の目的及び趣旨との整合性がとれているか。 ・事業が遂行可能な人員の確保がなされているか。 ・効果的な人員体制になっているか。 ・手法、日程等に無理はないか。 | 定性評価 | 様式20 |
| 特定提案等 | 画面構成 | 各種情報を確認しやすい、視認しやすい画面構成を評価 | 20点 | ※表示画面の作成により評価する。表示画面は全設置箇所のもので作成すること。 【加点要素（例）】 ・利用者が確認及び視認しやすいレイアウトになっているか ・文字サイズ、色彩など利用者に配慮されたデザインか | 定性評価 | 様式21-1 |
| | 運用・保守 | 令和6年度から令和10年度までの維持管理に係る費用及び保守体制が費用対効果の高い内容であるかを評価 | 15点 | 【加点要素（例）】 ・清掃点検、遠隔操作、現地対応等システム及びサイネージ機器の維持管理に必要な項目の提案がなされているか ・広告収入、その他スキーム等でのランニングコストの削減提案 ・ルート変更やダイヤ改正等での対応方法について | 定性評価 | 様式21-2 |
| | 付加機能 | 利用者の利便性に資する機能等を評価 | 5点 | 【加点要素（例）】 ・多言語（2語）以上の言語表示 ・ユニバーサルに配慮した画面表示 | 定性評価 | 様式21-3 |
| | 情報発信方法 | より利便性の高い公共交通運行情報発信方法の提案について評価 | 5点 | 【加点要素（例）】 ・Google Map上でのバス停及びルート検索 | 定性評価 | 様式21-4 |
| | 新駅を利用する利用者の利便性を高める情報発信について | ・新駅の各バス乗降場を利用する利用者に向けた効果的な情報発信を評価（利用者の利便性を考慮した機器及び機能、機器及び機能内容に対する費用対効果、その他提案等） | 30点 | 【加点要素（例）】 ・利用者の視認性を考慮し40インチ以上のサイネージを設置する ・効率的な広告収入、その他スキーム等でのランニングコストの削減提案 | 定性評価 | 様式21-5 |
| 合計 | | | 200点 | | | |